

これからの上映予定 映画・ビデオ観賞会 季節の上映会

県民の皆様気軽に映画を鑑賞していただくために、「季節の上映会(木曜 毎月2回)」と「映画・ビデオ鑑賞会(日曜 毎月1回)」を実施します。**無料・申込不要**で、どなたでも楽しんでいただけます。日本や世界の名作、アニメ、時代劇などの劇映画の他、各種記録映像なども上映します。多くの皆様に、大画面で見る映像の素晴らしさを味わっていただきたいと思っております。

映画・ビデオ鑑賞会 上映開始: 13時30分
 9月29日(日)「NORIN TEN~稲塚権次郎物語」
 10月27日(日)「ゆずり葉の頃」
 11月24日(日)「イーハトーブの赤い屋根」

季節の上映会 上映開始: 13時30分
 9月12日(木)「午後の遺言状」
 9月19日(木)「黄金花」
 10月10日(木)「風と共に去りぬ(前編)」【字幕】
 10月17日(木)「風と共に去りぬ(後編)」【字幕】
 11月7日(木)「永遠のルチアーノ・パヴァロッティ 世界が愛したマエストロ」【吹替】
 11月14日(木)「プッチーニに挑む」

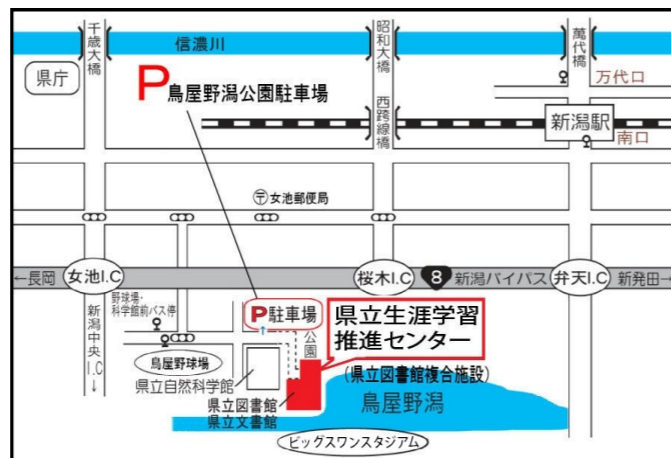
第34回 国民文化祭・にいがた 2019
 第19回 全国障害者芸術・文化祭にいがた大会
 2019.9.15(日)~11.30(土)

LLPC(Lifelong Learning Promotion Center) book (推進センター 所長)

社会的ジレンマを乗り越える「つながりの力」

新しい学習や活動に取り組みたいと思う人が1000人、そのうち実際に取り組んでみる人が100人、さらに続けられる人は1人。「やってみよう」「やってみよう」と思っても、実際の行動には移せない。こんな思いを感じたことはないだろうか?このギャップが「社会的ジレンマ」である。では、どうしたら思いと行動の段差を埋めることができるのか?それには3つの条件がある。まず、①自分にとって価値があること。そして、②コストが妥当であること。さらに、③人とのつながりによる帰属意識や仲間意識があること。私事だが、日頃からジョギングをし

てみたいと思っていた。何かと理由をつけて最初の一步が踏み出せなかった。そこにある日、大学時代の友人から昔の仲間とチームを組んで新潟シティマラソンを走ろうというメッセージが届いた。その時から、私は何とジョギングを始めることができたのである。3つの条件で言えば①、②はすでに満たされていた。③の「つながりの力」が行動につながる最後の一押しになったと言える。この出来事から社会的ジレンマを乗り越えるには、人とのつながりが大きな意味を持つことを感じる事ができた。〇〇の秋、人とつながる力をテコに新しい学びや活動に是非、挑戦していただきたい。



新潟県立生涯学習推進センター
 新潟市中央区女池南3-1-2
 TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019
 Mail:nlpc@mail.lalanet.gr.jp
 ホームページ:https://www.lalanet.gr.jp/
 Twitter:http://twitter.com/lala_nlpc/

新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」
https://www.lalanet.gr.jp/
家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」
TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019
生涯学習相談・情報提供
TEL:025-284-6119 FAX:025-284-6019 Mail:lalasoudan@mail.lalanet.gr.jp
施設等の貸出
生涯学習に関係する機関・団体等へ施設・視聴覚教材の貸出を行っています。
貸出施設:ホール(186名) 大研修室(100名) (視聴覚教材・機材の貸出しは原則登録が必要です。)



生涯学習



Niigata



https://www.lalanet.gr.jp/



No.139
 令和元年9月12日発行
 新潟県立
 生涯学習推進センター

ラ・ラ・ネット



「第34回国民文化祭・にいがた2019 第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」応援事業

にいがた生涯学習県民フォーラム2019



～ 楽しく学び 進んで伝えよう ～

参加無料
 ※一部体験ブースのみ有料



【11月9日(土)・10日(日) 共通】

9:30~17:00 文書館特別企画展
 各団体展示及びチラシ配布
 読書おたよりコンクール・中高生
 POPコンテスト作品展示
 11:00~12:00 弁当販売

【11月9日(土)の催物】

10:00~10:30 (ホール)
 開会式・いきいき県民カレッジ表彰式
 10:30~11:30 (ホール)
 読書おたよりコンクール・中高生POP
 コンテスト表彰式

13:30~16:00 (ホール)
 読書週間記念講演会
 講師:小説家 阿刀田高 さん



事前申込必要 (定員180名)
 (お問合せ) 県立図書館 ☎025-284-6001

13:30~15:30 (制作演習室)
 社会教育関係者スキルアップ研修会
 「家庭教育支援事業のい・ろ・は」
 講師:新潟県立大学教授 斎藤裕 さん



【11月10日(日)の催物】

10:00~11:45 (ホール)
 家庭教育講演会
 講師:新潟青陵大学教授 伊藤真理子 さん
 10:00~15:30
(大研修室)

- ・災害時に役立つ簡単非常食&新聞紙・段ボールクラフトづくり
- ・「絵本カバーのバッグ」づくり
- ・絵手紙づくり
- ・けん玉検定

(ロビー)
 ・つみ木コーナー
 ・江南高等特別支援学校学習成果品展示・即売
 ・手づくり小物販売

(制作演習室)
 ・創作活動体験!!「松ぼっくりデコ」
 ・しゅわしゅわ!感星バスボムづくり
 ・クラフトはがきづくり

10:30~15:00
(生涯学習相談コーナー)
 ・割りばしでっぽうづくり
 ・生涯学習相談
 13:30~15:00 (ホール)
 大人の学びトークイベント
 講師:女優・作家 中江有里 さん
事前申込必要 (定員180名)
 (お問合せ) 県生涯学習推進課
 ☎025-280-5972



主催:新潟県、新潟県教育委員会
 共催:新潟市教育委員会
 県社会教育関係団体懇話会(県生涯学習協会、県公民館連合会、県社会教育委員連絡協議会、県子ども会育成連合会、県小中学校PTA連合会、県高等学校PTA連合会、日本ボーイスカウト新潟連盟、ガールスカウト新潟連盟、県婦人連盟、県健康少年団連合会)、県立自然科学館
 協力:下越・新潟地区社会教育主事等会、日本けん玉協会新潟支部、(株)日本郵便
 後援:新潟日報社 NHK新潟放送局 BSN新潟放送 NST TeNYテレビ新潟 UX新潟テレビ21



地域とともにある学校づくり研修会 ～「社会に開かれた教育課程」実現までの道程～

本研修会は、地域とともにある学校づくりに向け、地域との連携・協働を確かなものとする「社会に開かれた教育課程」の工夫やキーパーソンである地域連携担当教員等を生かす学校経営について学び、管理職や行政担当者としてのリーダーシップとマネジメント力の向上を目指すものです。

今年度は、上越、下越、佐渡の3つの会場で、7月下旬から8月上旬にかけて実施し、合計174名の参加がありました。また、参加対象を新任の校長先生は原則参加とし、希望する学校管理職、行政担当者となりました。

研修会は、前半が実践発表、後半が講演会という形で進められました。前半の実践発表では、学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的な推進を試みている取組や地域連携担当教員が中核となって地域の人的資源や物的資源を活用した取組についてなどの発表がありました。また、後半の講演会講師には、千葉敬愛短期大学学長であり、文部科学省中央教育審議会委員、同生涯学習分科会会長、同スポーツ・青少年分科会委員を務められている明石要一様をお迎えし、子どもの実態・学校の課題・目指す子ども像についての

熟議をとおして、取組を推進することの重要性を御指導いただきました。

この研修会を出発点として、各学校が「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」に向けて、一層地域との連携・協働が推進されることを願っています。



「地域とともにある学校づくり研修会 佐渡会場の様子」

「すこやかコール」からのお知らせ

「すこやかコール」は、乳幼児から青少年までの子育てに関する様々な悩みや疑問に対して、専門の相談員が対応する電話相談です。家庭教育や子育てについて悩みを抱えている方に、一人で抱え込まずにすこやかコールを活用していただけるよう、相談者に寄り添い、一緒に考えることを第一に相談をお受けしています。

子育ての悩みをかかえている方、ご相談ください。

家庭教育・子育て電話相談
すこやかコール

025-283-1150

相談時間 月曜日～金曜日 午後1時から7時まで
上記以外の時間はFAXで受け付けます FAX:025-284-6019
土・日・祝日、8/13～8/15、12/29～1/3、3/28～31は休みです。

「いきいき県民カレッジ」秋冬号のお知らせ

「いきいき県民カレッジ」は、生涯学習社会の実現に向けて、「いつでも、どこでも、自分の希望するものを学びたい」という県民の要望に応えることを目的に、平成4年度に開学しました。これまでにのべ220万人の方から受講をいただいております。今年度から冊子『いきいき県民カレッジ講座一覧』の発行が年2回となり、9月末に2019年度秋冬号を発行いたします。今後も皆様の学習ニーズに幅広く応えられるように、「ラ・ラ・ネット」上での講座情報発信と合わせて、学習機会情報の提供の充実を図ってまいります。

令和元年度 講座一覧 / 入学案内

いきいき
県民カレッジ

～いつでも、どこでも、自分の希望する講座を～

- 新開講座
- 単科講座
- 社会・経済
- 技術・技能
- 芸術・文化
- 国際交流講座
- その他

新潟県教育委員会

「いきいき県民カレッジ秋冬号」表紙

地域連携コーディネーター養成スクールレポート

学校と地域の連携・協働を進める人材の確保を趣旨とした研修会を2会場で実施した。

◆講師：小見まいこ氏（NPO法人みらいずworks代表理事）

◆演題：「理念と目的を共有し戦略を立てるためのマインドセットと、現場で生きるファシリテーション」

◆受講者自身が足元を見つめ、さらに「今、わたしにできること」を確認し、実践に移すための意欲を高めることができた。

◆講師：牧野篤氏（東京大学大学院 教授）

◆演題：「今、人生100年を生きる子どもたちのために 一地域総がかりで子どもを育てる社会を一」

◆当事者意識を持ち、主体的に地域のコミュニティをつくる意義や目的、方途を学ぶことができた。さらに、「学校という場を核とした、地域総がかりの地域づくり」がCSの目的の一つであることを再認識し、一層の推進に向け決意を新たにしました。

第2回 地域連携コーディネーター養成スクール

NEWS LETTER

vol.2 2019.7.24

「今、人生100年を生きる子どもたちのために」地域総がかりで子どもを育てる社会を、東京大学大学院 教授 牧野篤氏

学校という場を核として、地域総がかりで子どもを育てる社会を、東京大学大学院 教授 牧野篤氏

「今、人生100年を生きる子どもたちのために」地域総がかりで子どもを育てる社会を、東京大学大学院 教授 牧野篤氏

「今、人生100年を生きる子どもたちのために」地域総がかりで子どもを育てる社会を、東京大学大学院 教授 牧野篤氏

「今、人生100年を生きる子どもたちのために」地域総がかりで子どもを育てる社会を、東京大学大学院 教授 牧野篤氏

「今、人生100年を生きる子どもたちのために」地域総がかりで子どもを育てる社会を、東京大学大学院 教授 牧野篤氏

「今、人生100年を生きる子どもたちのために」地域総がかりで子どもを育てる社会を、東京大学大学院 教授 牧野篤氏

研修会の概要を「News Letter」でまとめました。
詳細は、ホームページ「ラ・ラ・ネット」の「活動日記」をご覧ください。

メディア研修会特別講演会 ～「SNSノート」活用術～

今年度は、静岡大学准教授の塩田真吾様を講師に迎え、「情報モラル教材支援 SNSノートの活用術」をテーマに講演会を行いました。塩田様からは、SNSをめぐるトラブルについての事例と対応策、カード分類法による利用者の自覚を促す方法、メディア・リテラシーの発想について講演していただきました。

参加者の感想では、「今後の指導に活かしたい」や、「一人一人が考えることが大切なことが分かった」とありました。受講後の満足度が100%でした。是非、今後の指導に役立ててもらいたいです。



「講演会の様子」

そうだったのか！ 知って得する！！ 著作権 Q&A

次は、文化庁と共催で実施した『著作権セミナー』で、文化庁の講師から出された著作権に関する問題の一部です。考えてみてください。

- Q1 ある人の書いたイラストを、自分のホームページに載せる際、著作権者に電話で確認を取りましたが、それで大丈夫ですか。
- Q2 図書館の利用者が携帯電話で館内の本の写真を撮影しても良いですか。
- Q3 教師Aさんが担任するクラスで、学校の文化祭の準備のため、絵の得意な生徒Bさんが、有名キャラクターを看板に模写することになった。権利者の許諾は必要ですか。

著作権法は、難しい部分もありますが、社会・文化の発展に大きな影響を与える重要な法律です。ルールを正しく活用することでより良い社会を築き上げていきましょう。

<答え>

- A1 契約は口頭でも有効。ただし、トラブルを避けるため、文書による契約が望ましい。
- A2 私的使用であれば職員への了解を得る等して可能。ただし他の利用者への迷惑を考え、図書館側が施設管理権を根拠として館内での撮影行為を禁止することは妨げられない。
- A3 権利者の許諾は不要。文化祭も学習指導要領上の「授業」と評価される。

